

# 3

# トレーニングする

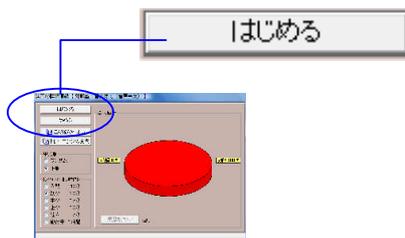
## トレーニングをする章と種類を選ぶ



もくじ窓でトレーニングをする章を表示させて、実施するトレーニングの種類を決め、再生ボタンをクリックする。

点灯しているボタンが演習のお薦め順路となっている。

## トレーニングをはじめる



演習の詳細情報設定窓が開くので、「はじめる」ボタンをクリックする。

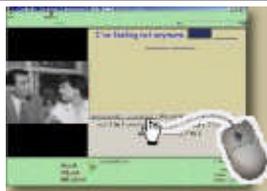
どのモードで練習する時も、音声に合わせてしゃべるようにする(シャドースピーキング)と学習効果が増大し、リズムとイントネーションが自然に身につき、英語口が養成される。

## A リスニング / 言葉あて (音声 英)



英語耳を作る、聞き取りの練習。  
流れる音声と同じ文を6つの選択肢から選んで、マウスでクリックする。

## B 語順整序 / 対戦型語順整序 (ディクテーション)



聞き取った音の順に、下段の単語をクリックする。

使わない単語も混じっている。

## C ディクテーション・ライト / 先頭だけ1文字



英語脳を作る、タイピング練習。  
聞き取った音の順に、単語の先頭1文字だけをタイプする。タイプは正解しか受け付けない。

# 効果的なトレーニング方法

以下の3つのトレーニングで段階的にスキルアップできます。

## 1 A 英語耳を作る 言葉あて 音声 英語

映画のシーンの映像と音声の流れ、英文の選択肢が表示されるので、音声を聞き取って、それに最も適した内容の選択肢を選ぶ。自然な発話の音声（日常会話）に慣れ、英語耳を養成するトレーニング。



初級者にはキーワードを聞き取る練習。全部聞き取れなくても気にしないで進む方がよい。しばらく続けているうちに耳が慣れてくる。

上級者はシャドースピーキング（真似して発話）する。発音にも気を使うと上達が早い。

## 2 B 英語脳を作る 対戦型 語順整序（ディクテーション）

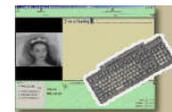
映画のシーンの映像と音声があるので、音声を聞き取って、下段に表示された単語を順にクリックして英文を完成させる。



制限時間内に単語を並べ替えて文を正しく再構築することで、英語の構文や言い回しを刷り込み、英語脳を養成するトレーニング。

## 3 C 英語力をつける ディクテーションライト 先頭だけ1文字

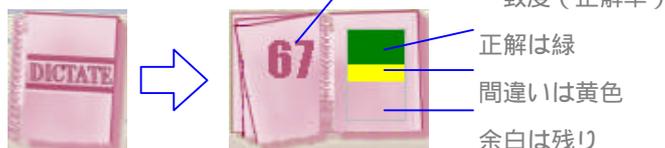
映画のシーンの映像と音声があるので、音声を書き取る。このとき、単語の先頭1文字だけ正しくタイプすると、残りは自動的に書き込まれる。



耳で聞き取った音声と脳にある構文パターンとをマッチングさせて文章に書き取る訓練をすることで、本物の英語力がつく。

### 学習履歴管理による反復練習最適化機能

筋の展開に沿って同じ順で問題が提示されます。1章分の問題を最後まで解いたあとは、間違えた問題だけが再度出題され、全問クリアするまで何度でも繰り返されるので、弱点を効率的に克服することができる。



演習を始めるとノートが開いて学習結果が書き込まれていく。一致度の数字は、解答した問題数に対する正解率（％）。

注意：ディスクドライブからの読み出しに時間がかかる環境によっては マウス操作が不自由な場合がある。